

よって、
原発の運転は
許されない。



ドキュメンタリー映画
「**原発をとめた裁判長**」

そして原発をとめる農家たち」上映

我が国の原発の耐震性は極めて低い！
放射能被災で一度はあきらめた農業を蘇らせる福島の人々。

92分

60分

原発をとめた裁判長

そして原発をとめる農家たち

樋口英明(元裁判長) 河合弘之(弁護士)
近藤恵(本松営業ソラー) 飯田哲也(環境学者)
監督・脚本・小原浩靖(日本人の忘れものプロジェクト) 中野の彌那人
企画・製作・河合弘之(日本と再生)
音楽・吉野裕司
主題歌・藤原さくら(土) 白崎映美
© 2023 AFF for the Future
AFF for the Future

(神奈川県ソーラーシェアリングを実践)



「日本と原発」「日本と再生」のスタッフ再集結！不屈の魂と新たな希望の誕生。

2023年 **8月5日(土)** 10:30 ~ / 14:30 ~ (開場は各30分前)

横須賀市 生涯学習センター 大学習室 JR横須賀駅または京急逸見駅下車徒歩5分
横須賀市西逸見町1-38-11 ☎046-822-4838

チケット料金 1,200円 (前売り券 1,000円) 中高生無料

チケット販売: 品川文化堂 (大滝町) ☎046-823-1848 問合せ: ☎090-2901-0862 (松澤)
井出新聞店 (衣笠栄町) ☎046-851-0235 ☎090-4835-6681 (沢園)
アナザフォト (追浜駅前) ☎046-865-9963

主催: 映画「原発をとめた裁判長〜そして原発をとめる農家たち」横須賀上映実行委員会 協力: 16ミリ試写室



環境問題を原子力発電所の
運転継続の根拠とすることは
甚だしい筋違いである。

福井地方裁判所民事第2部
裁判長裁判官 樋口 英明



我が国の原発の耐震性は極めて低い。

原子力発電の危険性を伝えるために人生をかける元裁判長。
放射能被災で一度はあきらめた農業を太陽光発電とともに蘇らせる福島の人々。
使命をもった者たちの意思がスクリーンにみなぎる!!

2014年、関西電力大飯原発の運転停止命令を下した樋口英明・福井地裁元裁判長は、定年退官を機に日本のすべての原発に共通する危険性を社会に説く活動をはじめた。それは、原発が日本で頻発する地震に耐えられない構造であることを指摘するシンプルかつ、誰もが分かる揺るぎない“樋口理論”である。

そして、日本中の原発差止訴訟の先頭に立つ弁護士・河合弘之は、この“樋口理論”をもって新たな裁判を開始した。逆襲弁護士の異名をとる河合と元裁判長・樋口がタッグを組んで挑む訴訟の行方はいかに!



一方、被災地福島では放射能汚染によって一度は生業を離れた農業者・近藤^{けい}恵が農地上で太陽光発電するソーラーシェアリングに農業復活の道を見出す。近藤は、反骨の環境学者・飯田哲也の協力を得て東京ドームの面積を超える日本最大級の営農型太陽光発電農場を始動させる!福島で太陽光発電農業を実践する農業者たちは口々に言う、「原発をとめるために!」と。脱原発への確かな理論と実践、被災から立ち上がる不屈の魂、そして若き農業者たちのふるさとへの思い——。原発事故11年目の今、エネルギー映画の決定版が誕生した!

樋口英明 河合弘之 近藤恵 飯田哲也 大内督 落合恵子(クレヨンハウス)

監督・脚本:小原浩靖「日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人」
音楽:吉野裕司(Music studio Ram) | 企画:河合弘之 飯田哲也 小原浩靖
製作:河合弘之「日本と原発」「日本と再生」
主題歌「素速き戦士」歌:白崎映美(上々颱風・東北6県ろ〜るショー!!)
配給・宣伝:Kプロジェクト(株)ENTER the DEE
2022年/日本/カラー/ビスタ/5.1ch / 92分 / ©Kプロジェクト



Official site

saibancho-movie.com



twitter

@saibancho_movie



Facebook

@saibancho2022

映画監督
小原 浩靖
(おばら ひろやす)



TV-CMを中心に企業プロモーションなどの映像広告を手がけ、作品数は700本を超える。2020年『日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人』で劇場用ドキュメンタリーを初監督。第26回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞、第38回日本映画復興賞奨励賞を受賞。本作では企画・製作・主題歌作詞・宣伝・配給も務めた。

写真提供: 日刊ゲンダイ